

配偶者を亡くして一年日記（４）

団 士郎

二年前のGWは、体調不良を訴える妻の横で、コロナ禍対応で繋がりにくい電話を保健所に何十回もかけていた。やっと許可がおりて大津日赤に駆けつけ検査入院。GWあけには胃がん、腺癌のステージⅣと診断された。

そして8月12日に亡くなるまで、結果的に僅か三ヶ月の病床生活だった。コロナ禍で出張仕事はキャンセルや延期が相次ぎ、私は自宅に居られたので、セルフイメージにはなかった看護人生活を過ごした。

夫婦で過ごしたこの間は、今思い出してもいい時間だった。高齢期にさしかかったとはいえ、夫婦の晩年をいくら考えたところで、なかなかリアルにイメージできるものではない。それが現実になった時、結果的に悔いも心残りもない迎え方ができたのは、運がよかったというほかない。妻が亡くなっているのに運が良いもないものだが、それでも多分亡妻もそう思っていたに違いない。

もう2年も経ったのか…とも思うが、ストレスを抱えることもなく暮らしている。お骨は我が家に置いたままだし、夢にもよく現れてきたので不在感もそれほどなく過ごしてきた。それがこの春あたりから、さっぱり登場しなくなった。そういう時期が過ぎたのか？

さて、次号からの連載はどうするかなあ。新企画を考えるか、日誌まとめの二年目に入るか。まあ、ゆっくり考えてみよう。

2021/5/14

最近参入の併読本三冊。一日中自宅にいると、家事全般をしながら、読書して、映画見て、雑用して、週末の講座の準備して、対人援助学マガジンの原稿書いて、東日本大震災10年の振り返り原稿を少しずつ書いていても、時間はある。暑くなって、天気が不安定なまま梅雨入りか？と思う初夏。



5/16

日曜日の午後から石川家族面接を学ぶ会WS。三時間に縮小してzoomで。

17年も続けてきているものだから、状況の変化には対応して出来ることをする。

初めての参加者もあり、どう伝わったかまでは支配できないが、こちらとして今出来ることを、やり切ったかどうかは分かる。



5/17

2年前の頃は、機会があって蘇州で開催することになった漫画展の準備に精出していた。その展示がきっかけで出版の話になり、作品数の関係で企画は上下巻ものから、4冊組の本にスケールアップした。それがいよいよ大詰めで、前書きや著者プロフィールを求められている。発売が楽しみだ。

5/18



夜更かししながら、たっぷりこれを堪能した。最近何冊か、近年の大衆小説古典と言えそうな物に手を出した。そんな中で、古さが滲み出て挫折してしまったのが松本清張作品。「ゼロの焦点」も中断した。時代小説には全くそんなこと感じない。マンガ作品を創る者としては、気になるところだ。

5/20

74歳になった日に、あちこちからおめでとうメッセージを戴いた。無事、今日を迎えられたのが良かったということだろう。

いつまで繰り返せるかは自分では決められないのが理解できているので、コロナ禍にもジタバタはしない。自分への祝いに髭を伸ばして

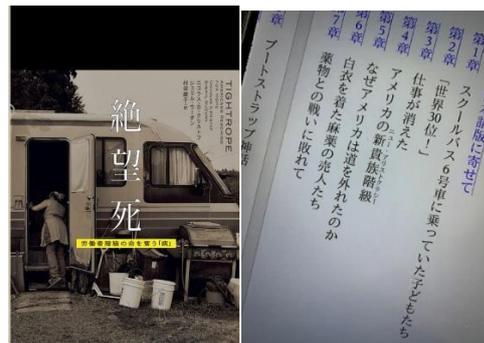
みた。これもいつまで続くかわからんが



5/21

昨日からこれを読みながら、米国の話なのに、日本の今が思われてならない。政治が結果に責任を取ろうとせず、自己責任だと押し付け続けた結果の格差社会。

アメリカはもう、誇れるものの少ない低ランクの国になっていることを明らかにしている。日本の話そっくりじゃないか。



興味深く明け方まで、これを読んでいて寝た。二時間もたたないうちに、激しくスマホが騒いだ。緊急避難情報。仕事場泊まりだったから、京都市からの通知。確認してまた眠りについたら再度警報。結局、三回。山沿いの地域へのもので、市内のマンションには関係がない。でも、有難いと思って寝直した。

5/22

無理することもないので連日、自宅や仕事場で原稿、zoom、読書、映画鑑賞の暮らしになる。

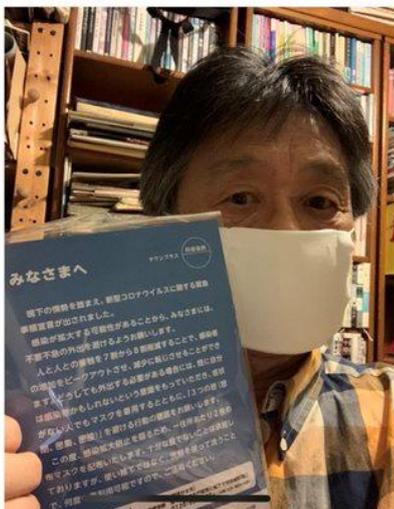
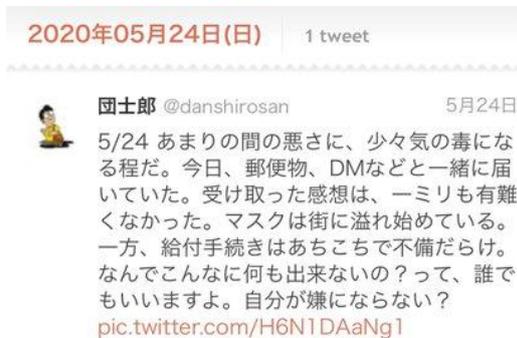
すると腕を上げると肩の辺りが固まってちょっと痛かったりするので、ネットで見つけて久々にラジオ体操をやってみた。忘れてないものだなあ体操と思って終えてしばらくすると肩が軽い。ラジオ体操恐るべし。

5/23

20年近く通い続けてきた札幌WS。昨年10月には隙間を縫って開催できていた。だが今回はやむなくzoomになった。ところがこうなったことで、初参加の人が増えた。何がどう転んでいか、わからないものだ。

この先のポストコロナ禍時代に期待しよう。

世の中は未知なことが起きるものだ。



5/24

反省。1年前、こう書いていた。今年、ワクチンについて同じことを書くことになる状況だ。こんなことを続けていて何も感じないのが同輩、高齢の男どもだ。面目ない。

若い世代は、邪魔だと思ったら居座っている上世代を駆逐する権利がある。未来はあなた達が生きる世界なのだから。

5/25

対人援助学マガジン第45号の締切日。原稿が続々と届く。まだ今からも夜中まで届き続けるだろう。連載執筆者は60人程にもなっている。しかし原稿の督促が基本的に不要というのが自慢である。

各担当に仕分けし、執筆者短信は一覧に流し込んでゆく。PDF仕上げの方は月末締切。6.15アップ予定。



5/26

昨日は午後からずっと、近頃なかったほど沢山の用件をこなした。

興奮していたのだろう。午前3時を過ぎても眠気が来ない。一度は横になったのだが、起き出してkindleで藤沢周平を読んでいる。ノルマのない老人だ、こんな徹夜明けも楽しい。

5/27

こんなに…と思うほど雨が降る。梅雨らしさはあまり感じない雨だ。雨読というわけでもな

いが、藤沢周平にはまっている。どれにも
少々の違和感というか、自分の感覚にピッタリ
ではないなあと思わせる何かがあって、それ
がはまっている理由かもしれない。
この隠居の言い草もそうだ。



5/27

対人援助学マガジンの原稿到着チェックをし
ながら、執筆者短信をまとめる。今号から復活
の人複数。新連載開始の人も三人ある。
そんな最中に山積の本から、2012年7月号
の小説新潮を発見。原田マハ氏山本周五郎
賞決定発表のこの月刊誌、なんと700頁あ
る。マガジンは350頁。まだまだである。



5/28

この中の一作、「海辺の叙景」をみていたら、
映画を見ているような気になった。
波乱万丈の物語や、起承転結が前面に出て
こないものの味わい方に鈍いところがあると
思っていたので、好みじゃなかったつげ義春
に興味湧いた。

不思議だなあ、他作品も自分の読め方に変化
を感じる。



5/29

久しぶりの快晴。こんな朝の出発は気持ちがい
い。午前中、亀岡の学びの森で、少人数に
向けた二時間半の雑談講演。去年、コロナ禍
になってからの開催だが三回目。対策したキ
レイな空間で、私は気持ちよく喋っている。



5/29 昨日夕刻に書店で目にして、今夕読み
終えた。坪内祐三さんの妻、佐久間文子さん
が夫の思い出を書いたもの。坪内さんの本は
何冊かと雑誌連載や、en-taxiなども見ていた
ので、登場する話題に知っていることも多い。
亡くなった人のことを、奥さんがこんなにたく
さん語れるのは良いなと思った。

5/31

昨日日曜日は、家族面接をバックスタッフと
して見に出かけて、少人数でいろんな家族話
をして楽しむ。
今日はマガジンの原稿PDF版の締め切りで、
大方の原稿が揃いつつある。ざっと見て、執
筆者60人、400ページ近いものになるのでは
ないか。読めねーよ！と呟きながら、自宅で楽

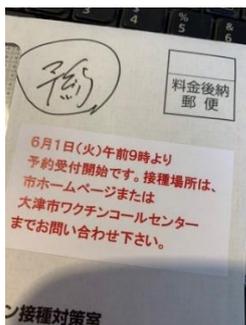
しく編集作業。執筆者短信蘭、これだけで12頁もある。

間に食事の用意。昨日から煮込んだチキンカレーは味見だけして冷凍。今夜は調理できれば良い無印のアクアパッツァ。大盛りの大根サラダと卵の花。風呂で読み始めた文庫が面白い。前は単行本で読んだもの。



6/1

コロナワクチン予約騒ぎに参加。当然電話はつながらず、QRコード予約にトライ。しかし接種会場情報はそこになかったり、体育館の建て替えて、二回目から会場が変わるとか、いろいろ言うてくれる。やっと予約日一覧が出たら全日✕印。70歳以上の予約開始初日だろう、またにしよう。



6/1

原田マハさんの本は結構読んでいるがこれは未読だった。ドンドン既読が増えていって、併読本がなくなってきた。文庫、単行本、kindleの三本立てで、読書の捗る緊急事態宣言下を過ごしている。

ザ・ホワイトタイガーをNetflixで観た。まあまあかな。そして今から自治会ニュース作りだ。



6/2

ワクチン接種予約2日目。昨日、今日で五十回以上かけている。HPからとの案内もあって、そちらも試みる。最後の正しい日程表がでず失敗。別の郵便が来て、市民検診のお知らせ。こちらを人間ドックに変えて大津日赤に予約。こちらは実にスムーズ。グズグズしてたドック受診に弾みがついた。

夜中に鎌倉の長男の助けを借りて、webでやっとワクチン接種予約完了。一度も行ったことのない遠くの体育館に、公共交通機関を使って行かなくてはならない。

免許返納を呼びかけてる人たちに、遠くまで来いと言っている。二回目の日程が、窮屈な予定の間に入ることに。

接種会場名	【1回目接種】瀬田公園体育館
住所	大津市一里山六丁目9番1号
ワクチン種別	ファイザー
接種回数	1回目
接種会場からの連絡 新型コロナウイルスワクチン接種のご予約ありがとうございました。安全かつ円滑なワクチン接種のため、当日会場にお越しいただく前に ます。	
【集合時間】 ・予約時間の10分前にお越しください。	
【持ち物など】 (1) 接種券(お忘れの場合は接種できません) (2) 本人確認書類(運転免許証、健康保険証等) (3) 予約票(「診察前の体調」と「新型コロナウイルス接種希望書」 復しませんが)以外を、会場にお越しいただく前にあらかじめご記入か (4) マスクを着用の上、肩を出しやすい服装でお越しください。	

6/3

ちょっと久しぶりに書店をのぞいた。目についた三冊を購入。二冊は今読んでる作家繋がり。仕事場に持ち帰ると、他用件に取り掛かって、放置になるので、巻頭から少しずつ全部読む

ことにした。初めてのやり方だ。
それでわかったのは、ご挨拶済んだ感が生じることだ。ただの積読にはならないぞ。



6/5

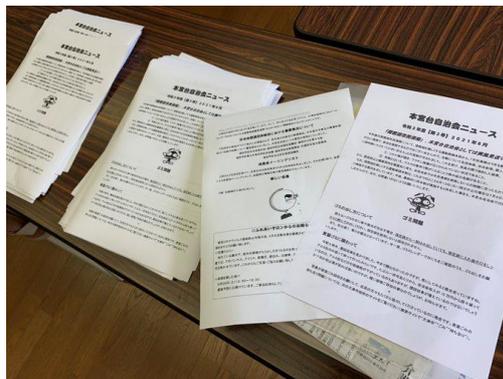
昨日は前夜から妙に暑くて、眠りが浅かった。夜中に何度も目覚め、水を飲んだ。コロナか？熱中症か？過労か？思いつくレパートリーがいかに流行り物なのにうんざりする。とにかく休養と睡眠だと、予約のキャンセルと編集会議を zoom に変更。無事済ませた後、今朝までぐっすり眠る。復活。

6/5

今日の夕焼けは、思わず足を止めてスマホで。これは大津駅前の 19 時頃かな。あちこちで撮った人があるだろうな。



日曜の朝は、地元自治会館で、作成した自治会ニュースの印刷作業。外では有志の方達が会館周囲の花壇の手入れをしている。印刷上がりを配布担当の役員宅まで届けて完了。



6/6

日曜の午後は、デスクワークを避けるため、キッチンワークに。ビーフシチューの二回目。美味しかったんだけど、今回は前とは違う作り方で。最後はスロークッカーに委ねて一晩待つのは同じ。陶芸気分だね。一人で楽しく遊ぶもんだ。



原作は有名な児童文学だそうだがよく知らない。たくさんの録画 BD の山の中から、手書きタイトルを頼りにどれを観ようか考える。ここしばらくは感が冴えていて、いい映画を観続けている。これは今の自分に染み込んでくるものの多い映画だった。子供向け？なのに、大人向けファンタジーだよな。



夜中にとんでもないことが判明。全国のこれまでやっているWSプログラム用レジユメのUSBが壊れたみたい。

あらら、どうするんだよ。バックアップは直近まではないぞ。あっちのPCのはだいぶ前。USBコピーも最近していない。不都合が起きるだろうなあ。なんとかする方法、教えてくれえー。



6/7

早起きしてJR、地下鉄で仕事場を經由して、京都駅に。久しぶりの新幹線で東京の仕事に出かける。

道中の人出で、緊急事態宣言延長中とか感じさせるのはマスクと新幹線京都駅だけ。ああ混雑してても、人が身体接触してこないね。



6/7

今夜はこんな夕景の見える場所のビジネスホテルに泊まる。コロナの時期だと言うことで、東京のホテルが1泊3700円だって。驚いてしまう。普通に綺麗なビジネスホテルだ。夜食におにぎりと味噌汁までつけてくれている。ほんと、厳しいんだろうなあ。



6/8

午後、講座素材DVDの収録を蔵前のスタジオで済ませて帰路に。東京駅に来て、慣れたところで早めの夕飯。ウロウロせずに、要所だけ。最後は丸の内の丸善で気になる本のまとめ買い。今日は五冊。新幹線出発。まだ、暗くなる前。

6/9

毎日いろいろある。夕刻から、草津市の家族理解勉強会。USB が壊れた対応も必須でせつせと励む。今日、届くはずのリース宅配が遅れていて、出発時刻にらみながらヤキモキ。

昨日購入本から、これを読み始めたが、不安定な国の緊張感と、そこに暮らす市民と訪問者のギャップに、ドキドキする。



6/10

相談室が直接面談解禁になった担当日。さっそく、良い経過報告に来てくれた人と、新規の若者の二件。いろんな問題があり、悩み方もある。そして、これからの方針も、様々に考えられる。簡単に傷ついたり落胆したりしないで、人生エクササイズを楽しめばいい。100 年未満で片付くのは確かだ。



6/11

好奇心で生活をややこしくしているだけかもしれない。でも、ちょっと面白いと思うと手を出す。でも購入して置き場所を取るのは本だけで良い。

そんな中、リース業の女性の TV 番組を見た。早速、以前から興味があった i robot を申し込んでみた。一週間 2000 円で届いた。さて働いてもらおう。



6/11

上原隆の本は、昔から目につくと読む。すぐ読めてしまうが、中に一つ二つ、必ず心のどこかに留まる話がある。

聞き書きスタイルで、誰かの人生を書く。私のことを書いてくださいと連絡があって会う人もいるみたいだ。いろんな人生があるとしか言いようもないが、みんな頑張ってるんだなあ。



6/11 心当たりのない郵便小包が届く。開けてみるとこれが出てきた。ああ。数週間前まで、初めてヒゲを伸ばしてみて、ちょっと面白かった。手入れって考えたこともないので、ネットでこれをポチ。

でも床屋に行った時、ためらいなく剃ってもらった。もう飽きたのだ。またいつか伸ばすことはあるのか。



6/12

明日日曜の弘前 zoom 版 WS を仕事場で実施のために、夕暮れになってから自宅を出発。途中で食事をしてから到着。

こちらにしか置いていないものもあって、気分転換方々、来週の仕事の準備をする。

先週の不調が回復して、七時間の一気睡眠が戻ってきた。トイレで目覚めたりしないのがいい。

6/13

13.30~16.30 まで。WS と言ってはいるが、三時間、ほぼ話す。話したいと思っていた事が話せてよかった。

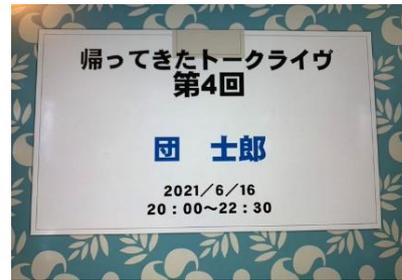
その間に、滅多にない電話がかかってきた。壊れた USB のデータレスキュー業者からだった。修復可能だという。高くつくがやってもらうことに。何事も経験だと思おう。



6/14

zoom 会議が午前、午後と二件、私はぼんやり傍観的出席。そう役割はないからね。その間に、秋からの仕事のスケジュール調整と来談の約束。一週間よく働いてくれたルンバ返

却の荷造り。



明後日水曜のトークライブ、演目二つのパワポ完成。あれこれ悩んだから、楽しんでもらいたい気持ち MAX だな。

\$拡散お願い€

対人援助学マガジン 45 号が先ほどアップされました。連載執筆者六十人、総ページ 628 頁の大部です。読み切るのは困難かと思いましたが、これほど様々な対人援助シーンを集めた物も稀だと思います。関心ある全ての方に、無償提供するのも支援だと考えます。

6/17

今夜の zoom で、怒涛の 10 日間が一区切りする。いい歳をして、こんなに仕事を受けるんじゃない！と自分にツッコミながら過ごした。そんな時に限って起きたトラブル、壊れた USB データの回収、復旧もなんとか山を越した。今後は amazon drive を使うことに。分かっているような、いないような



6/17

昨夜のトークライブ第四回目。仕事場のいつもとは違う場所から。ここが私が日常的にデスクワークをしているところ。お届けした映像と、舞台裏です。プログラムのおさまりも良く、聞いてくださる方々も全国各地からで、zoomの利点が生かされている。次はいつになるかな？



このでっかいステープラでガッチャンして、製本テープで仕上げた。428ページは印刷、製本の限界だ。バブル期のファッション雑誌ほど重い。プリンターは途中で一度ダウンした。個人ユーザーが一度に印刷する枚数を超えているようだ。プリンターは中古の新品だけ



ど。

6/18

昨日のかじけん zoom 隣の事情は、毒舌満開だったなあ。気心の知れた人たちとの放談会では、つつい用心深さがおろそかになる。まあ、いいのだけれど。

21時過ぎに終わってから夕飯を食べた。その後、洗濯物を干して、チキンカレーを作って

例のこれに。さてシアタールームで録画の何を観るかな。

6/19

ヨーロッパの鉄道好きなもので、ゆっくりした午後、8年くらい前の本を再読。そしてユーロスターに乗る機会がなかったなあ。ドーヴァー海峡をフェリーで往復したことはあったけど。セントパンクラス駅のラウンジ止まりだな。いつか乗りに行けるかな



6/21

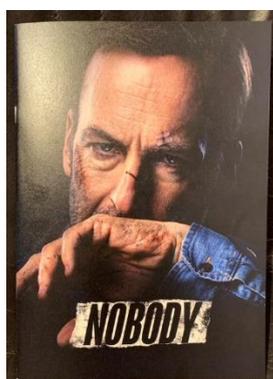
6~7年も継続的に依頼されている作画のプランを新京極のドールで。文具店で見つけた clear crayon なるもので試す。いろんな仕事を頼まれて、楽しんでいるとあつという間に時間がたつ。昨日は家族面接を観に KISWEC に行った。何か出来ることがありそうな興味深い家族だった



6/22

国民健康保険の一括払込に銀行へ。少しずつ安くなってきてはいるが、結構高い。それだけではつまらないので、近くのシネコンで上映時間の合うのを見繕ってこれ「Mr.ノーバディ」。聞いたこともない映画だったが、めっちゃ

面白い。こういう類の映画、多いけど、こんな時代だから楽しんだ。



家族心理学年報 39 の表紙画を完成して出版社に送信。本になるのはまだ先のことだが、なかなか数量の出る本ではないので先行PR。



書店でこのシリーズ表紙のものを見たらぜひ手に取っていただきたい。これまでののはこんな風です。

6/24

朝は相談室で家族面接の初回。午後は週末の浜松 WS のプログラム準備の木曜日。昨夜観たリュック ベツソンの ANNA がとても面白かった。この監督は同じような映画を何度も作るなあと思うが、私も観てるからわかることだ。そうか、観るから作るのか。でも、カッコいい女主人公。



6/25

なぜだか分からないが、連載開始の 50 年前から、ずっと読んでいる。量が多すぎて、読んだものと、未読のものとの区別もつかない。そうするうち、老化で読んだことも臆げになる歳を迎えた。もう、ダラダラ読み続けるしかないな。ダラダ 13 だな。



6/25

相変わらず新幹線がすいている。ならばと、超久しぶりに自由席を選んだ。以前、仕事終わりに飛び乗った列車に空席がなく、一時間半立った経験以来、絶対に指定席だった。自由席なんて何が自由なもんかと思っていた。早めに駅に着いたので、一本前の列車に乗る。座席はこの有様。自由だ。



6/26

浜松駅前の谷島屋書店は、以前、「国語教師」なる面白い翻訳物を全く知らずに手にしたところ。そんな連想で、今回もチラッと書名に記憶のあった翻訳物を購入。こういうジククス

を身近に作る遊び。ドクトルジバゴの原稿の話？

大好きな D.リーン 監督作ではないか。旅先で読み始めた。-



6/26

浜松市 WS 実施中。久しぶりの対面実習。zoom 講座も届くものは多いが、受け手の息遣いや、ちょっとしたリアクションが届いてこない。

中身はそんなに変わらないから、発信者の高まり具合に違いが現れるのかなと思う。私の場合、一人でも結構盛り上がりたと言われるとそうだけど。



6/27

ワクチン接種会場には見えない気がするけど、大津プリンスホテル。ただいま第一回目終了で、十五分の待機中。大勢のスタッフの丁寧過ぎるほどの案内。日曜日に高齢者のために動員されているみなさんに感謝である。いろんな工夫がしてあって、戸惑わないようにしてある。-



6/27 これは公開中の映画「キャラクター」のパンフレット。タイトルロールに SEKAI NO OWARI の Fukase のアクティングコーチとして、団こと葉がクレジットされている。こういう仕事を目指してキャリアを重ねてきて、それが報われた到達点だ。じっくり取り組めるものに出会えて幸運だ。





6/28

インターフォンが見えなくなるほど6月の草木は元気に伸びる。仕方なくそこだけ第二回目の刈り込み。

年に一度、職人さんに来てもらって全体を散髪してもらうのだが、日程が7月半ばになるらしい。待てないところが出てきたのでにわか植木屋。やったことないって。水分補給で汗だく休憩中。



6/30

街に出て、ドトールで新作の下書き。髪を切って貰いに出てきたが、予約は二時間ほど後になると聞いて、それまで仕事。

書店で見かけた新刊のこれ。「ぼくはイエローで…」の続巻、楽しみだ。でも先ずは読了してしまいたい数冊が走っているので、しばし置くことになるな。



6/30

頼まれていた本文各扉イラスト25枚を、3月初めに仕上げ送った。それをアレンジした表紙も綺麗な本が間もなく発売される。

私は製作時に全て読んだが読みやすく、わかりやすく、学ぶところも多い。売れ行きに関心の薄い著者だが、私は是非ともお勧めしたい。



7/1

朝は相談室勤務で来談二件。元気に行動をチェンジさせた青年の報告は話していて嬉しかった。午後、木陰の物語新作257話を完

成。その一コマにネット検索した 1958 年の日活映画ポスターを真似て描く。その後、自治会ニュースの 7 月号を作る予定。



7/2

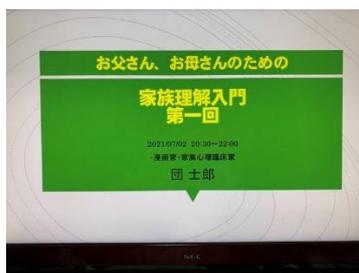
仕事場で目覚めた途端、夕陽のガンマン！が浮かんだ。意味がわからない。そんな夢でもなかったのに。

枕元のスマホで検索してテーマ曲を久しぶりに聴いた。しかし、朝の気分ピッタリでも、何か懐かしいわけでもなかった。なんだこりゃいたい！が正直な気持ちだ。



7/2

さあ、一回目のシリーズが好評だったので、zoom 講座は同じことを再び。とはいえ、全く同じことは話せない人間なので、自在に飛ぶだろうが、初めて聞いてくださる方も多いので、その辺の塩梅に工夫がいる。



7/5

雨がダラダラ降る。熱海では大変な土石流災害。ワクチン不足で一時停止とか。でも何かあってもオリンピックはやる気だな。

外出せず週末の FLC 講演の資料作りと、連続ズーム講座、二回目と三回目の準備。

合間に、以前見た新海アニメ「秒速 5 センチメートル」を再見。気持ちが洗われる。



7/6

大阪梅田の TSUTAYA 書店にこんな有料サロンがあるのを初めて知った。

向田本を買ったらレジで割引券を渡されたので利用してみた。セルフのフリードリンク制。一時間ほどでコラム二つが書けた。



7/7

久しぶりにドクターストレッチに出かけた。肩や腰が固まっている感じはしていたが、思った以上に硬い。関節も体も、可動域を確保しておかないと、すぐ怪我をするぞと自分で思う。痛めてから騒ぐのではなく、そうならないように準備だ。



7/8

朝は相談室勤務。若い来談者が増えている感じあり。

昨夜から仕事場泊で十六時間ほども絶食だったので、小雨の中、三条小橋のここにたっぶりランチに。ピッツアに始まって、お肉、野菜、デザートにこんなものまで。

その間に家族心理学会年報の表紙案の最終打診メールが届く。



7/8

仕事場のすぐ近所でやっているのだから、出品もしてないのに昨日に続いて訪問。

久々に「環境、廃棄物」漫画をずっと描いている高月ヒロシさんと会う。漫画に何ができるか、漫画家に何ができるか、の話を鍵にあれ

これ話す。細く長い付き合いが50年にもなるうかという方である。



7/9

最近見た映画三本。Amazon prime や Netflix のラインナップは充実している。

それにしても映画って大雑把に括れば、何かと闘うものが大方だ。残りは色恋沙汰？この三本も弾圧や不当、悪に向かって命懸けだ。一方、今の時代を考えると大抵の争いは損得だ。平和な時代の闘いは難しい。



7/9

和田誠氏の新しい本が目に入った。そう
だ、どこかで広告をチラッと見た記憶がある。
即、買った。それを三日ぶりに帰宅する大津
駅前のスタバで読む。この店、只今満席でござ
いますなんて言ってる。アクリル板越しの満
席テーブルで、しばし楽しむ。

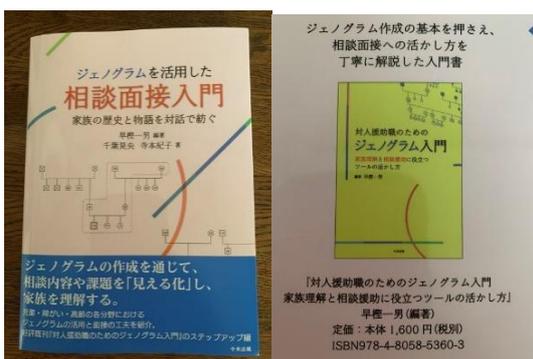


7/9

新しい本が出版社から届く。著者早樫、千
葉、寺本は、皆、長い付き合いの人達だ。

家族理解、支援臨床の世界で、実用的なも
のを作ることが、彼らや私のスタンスだから、
本が多くの人に届いて活用されるのが願
いだ。

私も家族の構造理論の二冊目を出せる工夫
をしなくちゃなあ。



7/10

今日は zoom ではなく live のこれ。大阪松
屋町の会場に出向く。その前にランチは東京
のマルビル店で以前よく食べていたスープレ
ックで。

スマホを見てたら 2015 年にこんなことを書
いている。世の中は当然のように相変わらず
だ。それを望んでいる人が少なくないことの現
れか？



2015年07月10日(金)

1 tweet



団士郎 @danshirosan

7月10日

現状に対して、小さな変化を1つ加えてみる
事を試みるのが、システム論者である私の発
想。思い切ってドンと変えてみようと言い出
すのはギャンブラーだ。過去に起きた傷につ
いてあれこれ考えるのは分析家で、すぐに忘
れたふりで新たな事を言い出すのが政治家。
国民もどれであるかは決められる。

posted at 10:37:22

7/12

昨日は継続的に見ている家族面接に出か
けた。手法として、バックスタッフが多人数、興
味深い参加の仕方をした。

その後、日曜だが仕事場に来て、来週から
の立て込んだ企画の準備を一つずつこなす。
捗るものから片付けて、残ったものはしばし

思案。実施、締切はまだ先だから慌てることはない。



7/13

午後から二人の来客。よもやま話をあれこれ。夜は漫画グループぼむの定例 zoom 会談。何度繰り返しても操作に慣れない人がいて、始まりにゴタゴタするのは恒例行事。

ゆっくり読んでいたこの本がいよいよ大詰め。D.リーン監督の映画ドクトルジバゴを昨日の夜から少しずつ、久々に見始めている。



7/14

先週再開したストレッチに今週も。相変わらず痛いところも残っているが、全体には柔軟になってきている。

創作活動に向かう時、身体不調は強敵だ。集中できないし意欲が削がれる。身体は私の環境だと思っているので、出来るだけ不調は

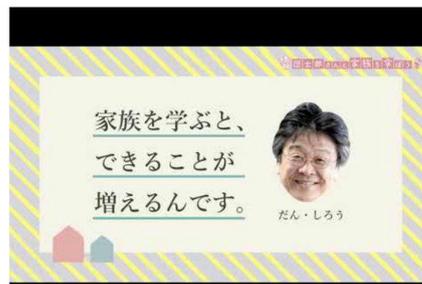
避ける。仕事場への帰路、ここで海老天づくしのランチ。



7/16

昨夜は、長く続けてきた家族事例検討会ができなくなって始めた代替有志 zoom ミーティングが 12 回目。

今夜は同じく zoom だが、こちらはコロナ禍を受けて新規スタートさせたもの。好評でシリーズ 2 開講中。シリーズ 3 も 2022.1 から予定されている。他に学校関係者向けのシリーズも計画中だ。



2021.02.27 10:00

【満員御礼】Season2【全6回オンライン講座】団...
【本講座は3/6に定員に達したため申し込みを締め切りました。ご興味を持っていただけたにも関わらず、受講のご案内...

1 2 >

4/17

明日の能美市での講演のためサンダーバード車中。たまにしか手にしない文藝春秋の特集二つが目についたので購入。

対人援助学マガジンを発行するようになった

て、全部読んでる人はない厚さの文藝春秋！
とよく揶揄していた。その雑誌が今号 444 頁。
我がマガジンの最新号は 428 頁。近づいてい
る。



7/18

石川県能美市で二週間の漫画展と講演。
防災センターの 5 階。パネルと掛軸がゆったり
と見られる空間。コロナの時期、広いスペー
スに密を避けた椅子を配したところで五十人
弱の聴衆に、企画者に寄せた中身で話す。担
当者の前後の接遇にも感心しながら二日間を
過ごし、満足の帰路に。



7/20

今朝は人間ドック。今年から近くの大津日赤
に変えた。一年前、妻の入院や点滴付き添い
で通った場所。馴染みがあって懐かしく落ち着
く。

30 年あまり京都第一日赤にドックで通った
が、この感覚はなかった。どこでもいっしょだ

から、これはいい。病院は好きになれないけ
ど。



7/20

夕刻からは茨木の立命館で東日本家族応援
プロジェクトのミーティング第一回目。久々の
対面開催。むつ市にはまだコロナで行けない
ので、今年も zoom 開催になる。終了後、今後
の打ち合わせ。



これをさっと読みながら、思ったこと。昔は
「ずる賢い」って、批判があったけど。今じゃ、
ずる賢くさえない。ズル馬鹿とズル呆けじゃ
ん。いい加減にしろよ、歳とってボケたのなら
引退でいいだろう。



7/21

2 度目のワクチン接種日。副反応を考えて、今日、明日、明後日はゆるいスケジュールにしてある。そこで Netflix で何か面白そうなものをと検索してこれを選ぶ。「ザ・ストレンジャー」。面白かった。ミニシリーズ 8 回を一挙に観てしまった。満足。



7/22

次男がわが家に車で向かって、35 キロの渋滞だと知らせてきた。コロナ禍で五輪なんて混乱とリンクする、この時期の世間の行動だ。SA は大混雑だろう。

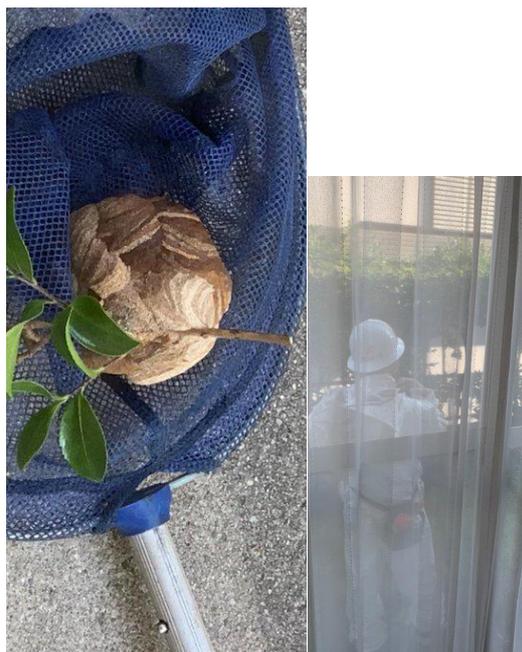
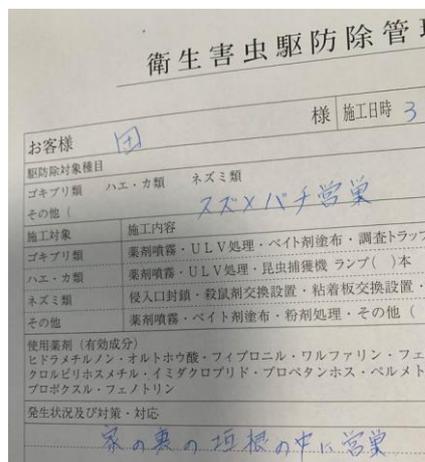
最近ショックだったのは、金沢のこの展覧会。私には全く心動くところがなく、多くの若者カップル観覧者があるのを見て、疎外感。歳とったのだ。

昨年、同じ時期に対応しなければならなかった事案が今年も発生。今回は 1 階の生垣の中、植木屋の剪定作業中に巣を発見。別の業者に来てもらって駆除してもらおう。去年は私が刺されてから業者をお願いをした事実があり、昨日のワクチン接種に続いて、今日蜂に刺されたりしたら大変。で無事終了。

7/23

昨日一日では済んでいなかったスズメバチの巣の処置。あちこち動いてもらって無事、完

了。昨年に続いて、なかなかのフォーム。もう、蜂に刺されるのはごめんだから、すまないが対応も連日次男の世話になる。業者さんは汗だくで作業。ありがとうございます。



7/23

五輪関連は無視で、18 時から zoom 打ち合わせ。進行中の連続 zoom 講座を、別枠でも開催トライしてみようという話。届くといいなと思っている人達に、受け取りやすい形で。それが出来ればきっと大きな一歩になる。

週末は二つの zoom 講座、来週は立命館大

学二日間のWS、KISWEC 三日間WS。大忙し。



7/25

昨日の zoom 講座のテーマは、「最適解を欲しがりすぎると、人は弱くなってしまうのではないか」。どこらあたりで決断できるかが、それぞれの人に問われる事態は頻繁にある。

今日の zoom 講座はグラフィックメディスン&グラフィックファミリーセラピー？というお題。さて、どれくらい伝わるだろうか？

7/25

グラフィック・ノベル作品は目につくと読む。結構量も読んだと思う。そして、こういう作品に触れると、自分の年齢を強く感じてしまう。登場する思春期が、そもそも違ってしまっている気がするのだ。女の子だからかなあ。私も昔は若かったのだが、こんなではなかった。なんかモヤッとしている。



7/30

午後から三日間、KISWEC の家族療法 WS step2. こんな時期だから開講可能かどうか懸念はあったが、やや少人数ながらも実施決定とのこと。世間は緊急事態宣言拡大とオリンピック開催の二股。

我がプログラムは五輪カテゴリーか飲食業カテゴリーか？参加申込の皆さんは予定通りかな？



さて、始めました。参加 13 人だから、いつもの半分以下。こじんまり実習再開。相変わらず話し出すと止まらないし、調子に乗ると、口が悪くなる。誰かを責めているのではなく、私たちが作った時代を嘆き、出来ることを模索している。

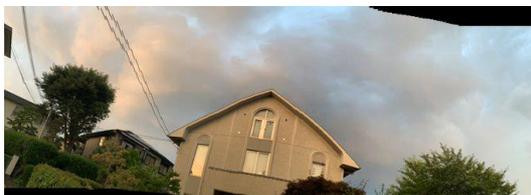


7/31

WS 二日目の中身を一部変更。社会の良くも悪くもの変化を受けて、そこに対応できる家族支援のスタンスはどうあるべきかを、実習的プログラムとして練る。

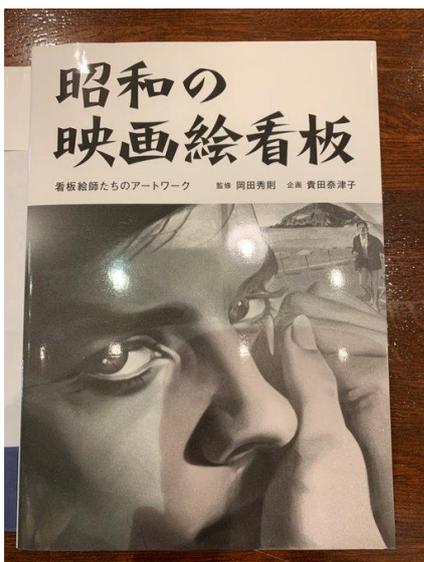
当然、人として普遍的なものはある。だが変

わらずあり続けるものと、変化に呼応してゆく家族的なもの。両方への準備が必須だ。



8/1

こんな本に手が伸びた。知らない本だ。この看板は二つとも1959年、私が小学校6年生の時。女猫は滋賀会館に親父に連れられて観に行った。さっぱりわからなかった。「め」という読み方が印象的だった。「日本誕生」は大々的宣伝をしていて、看板も凄かった。ポスターより看板が主流の時代だった。



8/1

WS 三日連投が一区切りしたので、ご褒美にずっと気になっていた映画「プロミシング ヤ

ング ウーマン」を観る。不思議な映画だし、予定されない感想があれこれ浮かんで消える。



8/1

中国語版「木陰の物語」の表紙のカバーがメールで届く。ほおー、漢字いっぱいだなあ。なのに読めない。分かるところもあるような…お国柄だね。一冊 39 元。四冊同時発売だ。



8/3

自宅で一日中、木陰の物語の新作制作。最近、なかなかフィニッシュに至らない。今回も。やっと決断できた。

夜は zoom で、NPO しが生活者支援者ネットの依頼で一時間ほど話す。

その後、風呂に入って九時半過ぎから調理開始。ただ今、ナスと豚肉のコックリ煮を仕上げているところ。



8/4

ストレッチで身体伸ばしてもらって、仕事場に。今日は一日、木陰の物語新作のペン入れ、完成まで。昨日の zoom 講演で、そもそも木陰の物語のタイトルは？と質問され、連載第一回目のことや、それが 20 年以上続くことになった経過などを話した。振り返ると沢山の幸運との巡り合いがあった。

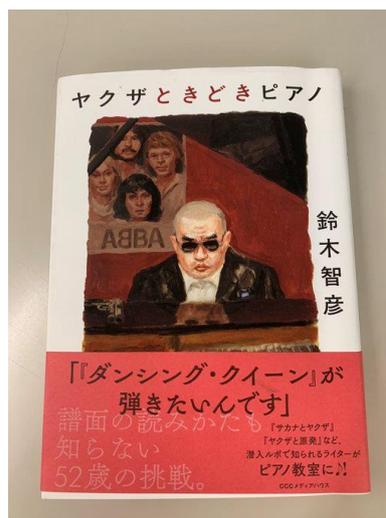


8/5

「サカナとヤクザ」の著者が 52 歳からピアノのレッスンに。よくある話だと思ったが、スイス

イ読みながら、自分もやってみようかな、なんてちょっと思った。

YouTube でせっせと見ているのは、この外国人の音楽解説。面白いし上手い。そうだ、山田五郎の「オトナの教養講座」もよく見る。西洋美術解説がメチャ面白い。



【アンゲル】うわっ...私の背 中長過ぎ...? 【グランド・... 山田五郎 オトナの教養講座・29万 回視聴・1 か月前

8/5

妻の初盆までに用意しておきたいものがあったので、時間の取れた今日の午後、日傘をさして夷川通へ。

歩き始めて気付いたが、こんな傘では役に

立たない。日陰ならいいが、日向を歩くと傘の中なのにカーッとしている。とんでもない陽射しだ。



8/6

帰宅して日の変わった夜中、少しだけ不安もだきながら届いていた封筒開封。先日の人間ドックの結果である。基本的にA、そしていくつかCが。Dはない。従来通り、「要経過観察」。また来年見せにおいでと言われていると理解。サア、頑張ろう。食べ過ぎは控えよう。



8/8

今から広島に。延期を重ねてきてたWS、しびれを切らした主催者からやろうということに。少人数で対策をして開催。
新幹線は思ったより人が乗っている。私は列

車に乗っているのが好きだから、楽しい。京都駅ならこれという駅弁を食す。12時23分までの旅。



8/8

広島からの帰路はこの読書。列車で列車で。この本は蔵前仁一さんがFacebookであげていたのを見てポチリ。同世代の好きなこと言いの爺さんが、痛快に毒づきながら旅をしている。(今のところだけ)。膝を打つこと多く、楽しんでいる。私もうるさい年寄りだ。



8/9

出かけなければならぬノルマがない月曜日。風の音にどんな様子かなと表に出てみたらこれだ。皆さんのところはいかがですか。

スケジュールの嵐も昨日乗り切ったところなので、静かな一周忌の準備をします。



8/10

去年の今日のツイートを見て驚いている。当然だが、この二日後に妻が亡くなるなんて思わずに書いている。

あの日から一年、昔のことはたくさん思い出すことがあった。でも、この日の病院のことは抜けていた。11日も12日も、いろいろ記憶にあるのに。そうか、もう眠ってしまっていたのか。



8/11

婦人公論 8/24 号のこの記事を読みながら、オリンピックとコロナ禍の中の今の政治を思う。しばしば人が「何も変わらない」と嘆くのは、人類や組織が変わると期待しているからだろう。大きなものは変わらない。変えられるのは自分に属する所だ。それだって自らの意思で変えなければなかなかだ。

が は ハ 、 し

直後に「満鮮に土着する者は日本国籍を離るるも支障なきものとす」つまり、許可すると書いた告知文がありました。支障ないと言いながら要は帰ってくるな、と。つまり、「おまえたちを捨てる」という宣言でしょう。驚愕しました。澤地 私、物書きになってから、これは「棄民」だったとはっきり

認識しました。上野 満州に送り出す時も、いわば棄民だったわけでしょう。澤地 ですから、日本という国を考える時、いよいよ政治が困ったら、平気で民を捨てる国だと私は



8/12

一年前の今日、23時38分、妻が亡くなった。

現在、青森県むつ市図書館開催中の木陰の物語漫画展の展示写真を貰った。綺麗に並んでいる。10年にわたって配布し続けてきた文庫冊子も、こんな風に並べてくれている。